



平成 16 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 16 年 8 月 9 日

会社名 **イーピーエス株式会社**

(コード番号：4 2 8 2 東証 第二部)

URL <http://www.eps.co.jp>

問合せ先 責任者役職名 常務取締役人事・総務・経理担当
氏 名 神宮 孝一

TEL (03) 5684-7797 (代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 無

連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 11 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 2 社

連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) - 社 (除外) - 社 持分法(新規) - 社 (除外) - 社

2. 16 年第 3 四半期の連結業績(平成 15 年 10 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (注) 記載金額は百万円未満を切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年第 3 四半期	7,700	(27.1)	633	(21.7)	652	(29.3)
15 年第 3 四半期	6,057	()	520	()	504	()
15 年 9 月期	8,935	(49.6)	1,178	(60.9)	1,153	(46.2)

	四半期(当期)純利益		1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
16 年第 3 四半期	360	(49.2)	4,138	18		
15 年第 3 四半期	241	()	8,915	14		
15 年 9 月期	571	(28.6)	20,759	33		

(注) 持分法投資損益 16 年第 3 四半期 0 百万円 15 年第 3 四半期 0 百万円 15 年 9 月期 0 百万円
期中平均株式数(連結) 16 年第 3 四半期 87,000 株 15 年第 3 四半期 27,075 株 15 年 9 月期 27,548 株
平成 15 年 11 月 20 日付効力発生として 1 : 3 の株式分割を実施しております。その結果発行済株式の総数は、29,000 株から 87,000 株となっております。

会計処理の方法の変更 無

売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益のパーセント表示は、対前期増減率であります。なお、平成 15 年 9 月期より四半期決算を導入しておりますので、平成 15 年四半期の対前期増減率は記載しておりません。

平成 16 年第 3 四半期の期中平均株式数及び 1 株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
16 年第 3 四半期	6,627	4,584	69.1	52,694	02
15 年第 3 四半期	5,825	3,779	64.8	131,693	29
15 年 9 月期	6,573	4,321	65.8	149,029	91

(注) 期末発行済株式数(連結) 16 年第 3 四半期 87,000 株 15 年第 3 四半期 28,700 株 15 年 9 月期 29,000 株
平成 15 年 11 月 20 日付、効力発生として 1 : 3 の株式分割を実施しております。その結果発行済株式数は、29,000 株から 87,000 株となっております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年第 3 四半期	53	744	50	2,321
15 年 9 月期	360	48	1,265	3,074

3. 16 年 9 月期の連結業績予想(平成 15 年 10 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

平成 16 年 9 月期業績予想につきましては、平成 15 年 11 月 21 日に発表致しました予想を変えておりません。

経営成績及び財政状態

1. 経営成績

(1) 第3四半期の概況

当期におけるわが国経済は、輸出や生産の増加、企業業績の改善など景気は拡大しておりますが、原油の高騰、米国の利上げ、中国の利上げの検討、大手金融機関の合併問題など今後については予断が許されない状況で推移しております。こうした中でも当社が属するCRO（医薬品開発業務受託機関）の業界及び子会社である株式会社イーピーリンクが展開しているSMO（治験施設支援機関）の業界は、引続き成長を続けており、非臨床事業の業界も、堅調に推移しております。

CRO事業につきましては、当社を中心に展開しております。

当社においては、長期試験の分野では抗高脂血症薬、抗癌剤、糖尿病治療薬などの大規模市販後臨床試験は、引続きデータマネジメント、モニタリング業務を展開しております。

開発段階の試験につきましては、臨床企画開発部門において、既存プロジェクト及び派遣業務の遂行とともに新規プロジェクトが稼動しております。また、前々連結会計年度より準備作業を進めてまいりましたバイオベンチャーに関するプロジェクトが本格稼動しております。

登録・進捗管理業務、データマネジメント業務、統計解析業務に関しましては、臨床情報処理部門において引続き拡大を図ってまいりました。

また、昨年の11月には、バイオベンチャー企業との業務提携をおこない、臨床企画開発部門・臨床情報処理部門とも今後更なる拡大を図っております。

医療機器開発業務、臨床試験参加者募集向けコールセンター業務、安全性情報業務につきましては、徐々に売上も伸びております。

一方、連結子会社に関して、イーピーメディカル株式会社は、製薬会社向け人材派遣業務の他にMR派遣サービス等の新規事業の準備を進めております。

システム開発業務につきましては、オーライソフトウェア株式会社及びその子会社である往来軟件（北京）有限公司が、中国IT技術者を活用した事業を進めております。しかしソフトウェア開発需要が全般的に低迷したことにより苦戦しております。

その結果、CRO事業として当四半期売上高は、5,473百万円となり、当四半期営業利益は、469百万円となりました。

SMO事業につきましては、株式会社イーピーリンクにおいて展開しております。CRC（医療施設における臨床試験コーディネーター）業務と併せて地域医療機関との提携による臨床試験事務局などのサイトサポート業務が拡大しておりますが、一部の受託案件の失注、また人材確保といった先行投資的費用により利益面で低迷しております。

その結果、SMO事業として当四半期売上高は、1,310百万円、当四半期営業利益は、44百万円となりました。

非臨床事業につきましてはエルエスジー株式会社において展開しておりますが、ほぼ予定通り堅調に推移しております。

その結果、非臨床事業として当四半期売上高は、953百万円、当四半期営業利益は、114百万円となりました。

上記の事業の種類別セグメント毎の連結売上高及び連結営業利益は、セグメント間の内部取引を含めて記載しておりますので、それを控除した結果、当四半期連結売上高は、7,700百万円（前四半期連結会計期間比27.1%増）、当連結営業利益は633百万円（同21.7%増）となりました。

なお、上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 品目別の生産、受注及び販売の状況

生産実績

区 分	当第3四半期連結会計期間 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日) (千円)	前年同期比(%)
CRO事業		
データマネジメント業務	2,441,403	124.3
モニタリング業務	2,081,586	147.3
システム開発業務等	1,038,894	104.6
CRO事業計	5,561,883	127.3
SMO事業	1,295,644	122.0
非臨床事業	950,074	110.7
合 計	7,807,601	124.1

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

受注実績

当連結会計期間における受注状況は以下のとおりであります。

区 分	当第3四半期連結会計期間 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日) (千円)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
CRO事業				
データマネジメント業務	2,587,742	115.2	2,654,931	90.2
モニタリング業務	2,744,630	220.3	4,453,572	218.1
システム開発業務等	978,403	105.6	287,990	104.5
CRO事業計	6,310,775	142.8	7,396,493	140.6
SMO事業	1,468,984	141.0	1,185,516	150.8
非臨床事業	1,167,839	125.8	303,023	173.5
合 計	8,947,598	140.1	8,885,032	142.8

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

販 売 実 績

区 分	当第3四半期連結会計期間 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日) (千円)	前年同期比(%)
CRO事業		
データマネジメント業務	2,369,653	131.1
モニタリング業務	2,076,943	147.0
システム開発業務等	1,005,356	109.6
CRO事業計	5,451,954	131.8
SMO事業	1,298,269	122.3
非臨床事業	950,074	110.7
合 計	7,700,298	127.1

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前年同四半期連結会計年度 (自平成14年10月1日 至平成15年6月30日)		当四半期連結会計年度 (自平成15年10月1日 至平成16年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
三共株式会社	827,503	13.6	782,593	10.2

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 今期業績予想

今後のわが国経済は、一般的に好転しているものの、米国の利上げ、原油の高騰、テロ問題等を要因とする世界的な景気の減速懸念など予断の許されない状況が予想されます。

当社では、データマネジメント・統計解析を行う臨床情報処理部門、モニタリング等臨床開発を行う臨床企画開発部門、長期大規模試験を行う臨床研究推進部門の三部門を中心に、被験者の募集登録を行う症例登録センター、臨床試験に関する薬品の安全性情報サービスを提供する安全性情報室、医療機器開発に関する調査・申請・モニタリングを行う医療機器開発部、情報収集と受注活動を行う企画推進部、海外での臨床試験関連業務を行う国際部から構成されており、今後もデータマネジメント、モニタリング、長期試験等の全分野でほぼ予定通り推移すると予想されます。

グループ会社では、中国IT技術者を活用したソフトウェア受託開発を行うオーライソフトウェア株式会社は中国子会社と共に新規プロジェクトの受注獲得に向け邁進してまいります。また、人材派遣業を行うイーピーメディカル株式会社は現在の製薬会社向けの人材派遣サービスにMR等の新たなサービスを追加すべく準備をしております。

SMO事業を行う株式会社イーピーリンクは、昨年来の先行的な人材確保を基に引続き受注拡大を見込んでおります。

また非臨床事業を行うエルエスジー株式会社は、引続き安定した業容拡大が予想されますが為替変動の影響が懸念されます。

これらにより平成16年9月期の連結業績の見通しは、平成15年11月21日に発表しました予想を変更致しません。

平成16年9月期の連結業績予想(平成15年10月1日～平成16年9月30日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	11,468	1,547	816

2. 財政状態

(1) 連結キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」と言う。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー収入が53百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー支出が744百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー支出が50百万円となった結果、当四半期連結会計期末には2,321百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は53百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が712百万円、仕入債務増加で64百万円、前受金の増加で78百万円の収入を得ることができましたが、法人税等の支出で602百万円、賞与引当金の減少により185百万円、たな卸資産の増加により117百万円の支出があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は744百万円となりました。これは主に長期性定期預金への支出500百万円や投資有価証券の取得203百万円を行ったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は50百万円となりました。これは主に連結子会社である株式会社イーピーリンクが50百万円の借入を実施したことによる収入と当社及び連結子会社が、配当金の支出94百万円を行ったことによります。

第3四半期連結財務諸表

第3四半期連結貸借対照表

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成15年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	2,321,239	2,887,017	565,778	19.6	3,074,955
2 受取手形及び売掛金	1,932,891	1,349,194	583,696	43.3	1,949,777
3 たな卸資産	229,011	277,001	47,990	17.3	121,850
4 繰延税金資産	61,197	35,060	26,136	74.5	150,154
5 立替金	96,488	96,539	51	0.0	85,056
6 その他	122,460	120,441	2,018	1.7	93,897
7 貸倒引当金	374	3,284	2,909	88.6	4,707
流動資産合計	4,762,912	4,761,971	941	0.0	5,470,984
固定資産					
1 有形固定資産	193,448	191,608	1,840	1.0	190,804
2 無形固定資産	84,442	66,344	18,097	27.3	79,042
3 投資その他の資産					
(1) 敷金・保証金	495,911	474,594	21,317	4.5	481,930
(2) 長期性預金	500,000		500,000		
(3) その他	590,354	330,908	259,446	78.4	350,632
投資その他の資産合計	1,586,266	805,503	780,762	96.9	832,563
固定資産合計	1,864,157	1,063,457	800,700	75.3	1,102,409
資産合計	6,627,070	5,825,429	801,641	13.8	6,573,394

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成15年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	241,664	218,135	23,529	10.8	182,355
2 短期借入金	50,000		50,000		
3 前受金	223,971	460,349	236,377	51.3	145,963
4 一年以内返済予定の 長期借入金	26,400	26,400			26,400
5 未払法人税	12,196	11,796	400	3.4	350,476
6 賞与引当金	98,665	81,018	17,647	21.8	283,862
7 その他	753,078	636,077	117,001	18.4	597,626
流動負債合計	1,405,976	1,433,777	27,801	1.9	1,586,683
固定負債					
1 長期借入金	18,400	44,800	26,400	58.9	38,200
2 退職給付引当金	158,745	111,134	47,610	42.8	123,910
3 役員退職慰労引当金	111,571	101,586	9,984	9.8	105,603
4 その他	2,550	22,470	19,920	88.7	20,047
固定負債合計	291,266	279,992	11,273	4.0	287,761
負債合計	1,697,242	1,713,770	16,527	1.0	1,874,445
(少数株主持分)					
少数株主持分	345,448	332,061	13,386	4.0	377,082
(資本の部)					
資本金	1,325,250	1,219,275	105,975	8.7	1,325,250
資本剰余金	1,275,300	1,169,325	105,975	9.1	1,275,300
利益剰余金	1,977,600	1,375,397	602,203	43.8	1,705,922
その他有価証券評価 差額金	33,731	19,902	13,829	69.5	25,971
為替換算調整勘定	27,502	4,302	23,199	539.2	10,576
資本合計	4,584,380	3,779,597	804,782	21.3	4,321,867
負債、少数株主持 分及び資本合計	6,627,070	5,825,429	801,641	13.8	6,573,394

第3四半期連結損益計算書

区 分	当四半期 (平成16年9月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
売上高	7,700,298	6,057,855	1,642,443	27.1	8,935,991
売上原価	5,654,765	4,357,312	1,297,453	29.8	6,173,727
売上総利益	2,045,533	1,700,543	344,990	20.3	2,762,264
販売費及び一般管理費	1,412,060	1,179,826	232,234	19.7	1,583,336
営業利益	633,472	520,716	112,756	21.7	1,178,927
営業外収益					
1 受取利息	11,351	4,261	7,089	166.4	5,554
2 保険解約益	3,459		3,459		7,918
3 受取手数料	2,657	2,814	156	5.6	5,803
4 連結調整勘定償却額	5,191	1,916	3,274	170.9	1,819
5 持分法による投資利益		382	382	100.0	860
6 その他	9,025	14,392	5,367	37.3	9,299
営業外収益合計	31,684	23,767	7,917	33.3	31,255
営業外費用					
1 支払利息	2,125	4,792	2,667	55.7	5,405
2 為替差損	7,494	23,091	15,597	67.5	34,970
3 新株発行費		10,120	10,120	100.0	12,183
4 障害者雇用協会納付金	2,200	1,744	456	26.1	2,850
5 持分法による投資損失	237		237		
6 その他	360		360		1,662
営業外費用合計	12,417	39,748	27,330	68.8	57,072
経常利益	652,739	504,735	148,004	29.3	1,153,111
特別利益					
1 固定資産売却益		1,912	1,912	100.0	1,685
2 貸倒引当金戻入益	4,438	1,883	2,554	135.6	
3 投資有価証券売却益	90,551		90,551		
特別利益合計	94,990	3,795	91,194	2,402.4	1,685
特別損失					
1 固定資産除売却損	6,390	2,527	3,862	152.8	3,916
2 子会社役員退職慰労金	28,482		28,482		
特別損失合計	34,872	2,527	32,344	1,279.4	3,916
税金等調整前第3四半期 (当期)純利益	712,858	506,003	206,854	40.9	1,150,880
法人税、住民税及び事 業税	265,082	172,545	92,537	53.6	545,767
法人税等調整額	77,776	42,576	35,200	82.7	65,990
少数株主利益	9,985	49,503	39,518	79.8	99,225
第3四半期(当期)純利益	360,013	241,377	118,635	49.1	571,878

第3 四半期連結剰余金計算書

区 分	注記 番号	当四半期 (平成16年9月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成15年9月期
		金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率	金額(千円)
(資本剰余金の部)						
資本剰余金期首残高		1,275,300				
資本準備金期首残高			568,800	706,500	124.2	568,800
資本剰余金増加高						
1 増資による新株の発行			600,525	600,525	100.0	706,500
資本剰余金四半期末 (期末)残高		1,275,300	1,169,325	706,500	224.2	1,275,300
(利益剰余金の部)						
利益剰余金期首残高		1,705,922				
連結剰余金期首残高			1,184,772	521,150	44.0	1,184,772
利益剰余金増加高						
1 四半期(期末)純利益		360,013	241,377	118,635	49.1	571,878
利益剰余金減少高						
1 配当金		87,000	49,950	37,050	74.2	49,950
3 役員賞与			640	640	100.0	640
4 その他		1,334	162	1,172	723.8	137
利益剰余金四半期末 (期末)残高		1,977,600	1,375,397	602,203	43.8	1,705,922

第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	当四半期	(参考)
	(平成16年9月期第3四半期)	平成15年9月期
	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	712,858	1,150,880
2 減価償却費	53,996	59,022
3 賞与引当金の増加額(減少額)	185,014	61,363
4 新株発行費		12,183
5 投資有価証券売却益	90,551	
6 退職給付引当金の増加額	34,834	33,666
7 役員退職慰労引当金の増加額	5,967	15,897
8 受取利息及び受取配当金	12,041	6,206
9 支払利息	2,125	5,405
10 売上債権の減少額(増加額)	9,345	543,206
11 たな卸資産の減少額(増加額)	117,021	13,327
12 仕入債務の増加額(減少額)	64,439	35,403
13 前受金の増加額	78,583	40,979
14 その他の流動負債の増加額	151,581	228,531
15 その他の減少額	63,204	88,999
小計	645,899	947,441
16 利息及び配当金の受取額	11,997	5,695
17 利息の支払額	2,125	5,385
18 法人税等の支払額	602,666	586,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,105	360,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 定期預金の預入れによる支出	500,000	
2 有形固定資産の取得による支出	52,277	91,173
3 敷金・保証金に係る支出	60,744	81,919
4 敷金・保証金の回収による収入	47,076	18,011
5 投資有価証券の取得による支出	203,000	19,300
6 投資有価証券の売却による収入	96,385	
7 無形固定資産の取得による支出	30,218	42,598
8 その他の投資その他の資産の増加額	46,417	45,721
9 連結範囲の変更を伴う子会社株式の買い増しによる収入		192,543
10 その他	4,550	21,984
投資活動によるキャッシュ・フロー	744,647	48,173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 短期借入れによる収入	500,000	300,000
2 短期借入金の返済による支出	450,000	463,220
3 長期借入れによる収入		80,000
4 長期借入金の返済による支出	19,800	41,040
5 株式の発行による収入		1,400,816
6 配当金の支払額	79,688	49,490
7 少数株主への株式の発行による収入	14,000	50,500
8 少数株主への配当金の支払額	14,925	11,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,413	1,265,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,761	4,411
現金及び現金同等物の増加額	753,716	1,574,147
現金及び現金同等物の期首残高	3,074,955	1,500,808
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,321,239	3,074,955

第3 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項 目	当四半期 (平成16年9月期第3四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期第3四半期)	(参考) 平成15年9月期
1 連結の範囲に関する事項	<p>子会社は株式会社イーピーリンク他10社であり、全て連結対象としております。</p>	<p>子会社は株式会社イーピーリンク他10社であり、全て連結対象としております。</p> <p>当四半期連結会計期間よりエルエスジー株式会社が、持分法を適用した関連会社から連結子会社となっております。</p> <p>その結果新たにKS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION.BREEDING.&RESEARCH CENTER,INC.、LS GLOBAL,INC.が連結対象となっております。</p> <p>また、当連結会計年度より会社設立によりEVER PROGRESSING SYSTEM PTE, LTD.を新たに連結子会社としております。</p>	<p>子会社は株式会社イーピーリンク他10社であり、全て連結対象としております。</p> <p>当連結会計年度よりエルエスジー株式会社が、持分法を適用した関連会社から連結子会社となっております。</p> <p>その結果新たにKS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER,INC.、LS GLOBAL,INC.が連結対象となっております。</p> <p>また、当連結会計年度より会社設立によりEVER PROGRESSING SYSTEM PTE, LTD.を新たに連結子会社としております。</p>
2 持分法の範囲に関する事項	<p>持分法を適用した関連会社は、GK REALTY CORPORATION他1社であります。</p>	<p>持分法を適用した関連会社は、GK REALTY CORPORATION他1社であります。</p> <p>当四半期連結会計期間よりエルエスジー株式会社が連結子会社となったため、持分法の適用範囲から除外されております。</p> <p>GK REALTY CORPORATION他1社は、持分の取得により当四半期連結会計期間より持分法の適用範囲に含めることと致しました。</p>	<p>持分法を適用した関連会社は、GK REALTY CORPORATION他1社であります。</p> <p>当連結会計年度よりエルエスジー株式会社が連結子会社となったため、持分法の適用範囲から除外されております。</p> <p>GK REALTY CORPORATION他1社は、持分の取得により当連結会計年度より持分法の適用範囲に含めることと致しました。</p>
3 連結子会社の四半期決算日(決算日)等に関する事項	<p>連結子会社のうち、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司、KS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER,INC.、LS GLOBAL,INC.の決算日は、12月31日であります。</p> <p>四半期連結財務諸表の作成に当たっては、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司は四半期連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>KSINTER-NATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER,INC.、LS GLOBAL,INC.は3月31日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>なお、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>	<p>同左</p>	<p>連結子会社のうち、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司、KS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING & RESEARCH CENTER,INC.、LS GLOBAL,INC.の決算日は、12月31日であります。</p> <p>連結財務諸表の作成に当たっては、上海日新医薬発展有限公司と往来軟件(北京)有限公司は連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>KS INTERNATIONAL PTE.,LTD.、SIMIAN CONSERVATION BREEDING RESEARCHCENTER,INC.LS GLOBAL,INC.は6月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。</p> <p>なお、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>

項 目	当四半期 (平成16年9月期第3四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期第3四半期)	(参考) 平成15年9月期
4 会計処理基準に関する事項			
(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当四半期決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 個別法による原価法 ただし、一部の在外連結子会社は総平均法による低価法</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 同左</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 同左</p>	<p>有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当連結会計年度末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>たな卸資産 仕掛品及び商品 同左</p>
(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法	<p>有形固定資産 親会社及び国内連結子会社は定率法、在外連結子会社は定額法によっております。なお、主な耐用年数は、建物15年、器具及び備品4～6年であります。</p> <p>無形固定資産 自社利用ソフトウェアについて、利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>	<p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 同左</p>	<p>有形固定資産 同左</p> <p>無形固定資産 同左</p>
(3) 重要な引当金の計上基準	<p>貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案した必要額を計上することとしております。</p> <p>賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当四半期負担相当額を計上してあります。</p>	<p>貸倒引当金 同左</p> <p>賞与引当金 同左</p>	<p>貸倒引当金 同左</p> <p>賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、翌期支給見込額のうち当期負担相当額を計上してあります。</p>

項 目	当四半期 (平成16年9月期第3四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期第3四半期)	(参考) 平成15年9月期
(4) 重要な外貨建資産または負債の本邦通貨への換算基準	退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当四半期連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。	退職給付引当金 同左	退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
	数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。		数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。
	役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当四半期連結会計期間末要支給見込額を計上しております。	役員退職慰労引当金 同左	役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給見込額を計上しております。
	外貨建金銭債権債務は、当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産、負債は当四半期連結会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における「為替換算調整勘定」に含めております。	同左	外貨建金銭債権債務は、当連結会計年度末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産、負債は当連結会計年度末の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は少数株主持分及び資本の部における「為替換算調整勘定」に含めております。
	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左	同左

項 目	当四半期 (平成16年9月期第3四半期)	前年同四半期 (平成15年9月期第3四半期)	(参考) 平成15年9月期
(6) その他当四半期連結財務諸表(連結財務諸表)作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっておりま す。	消費税等の会計処理 同左	消費税等の会計処理 同左 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準 当連結会計年度から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)を適用しております。これによる当連結会計年度の損益に与える影響はありません。 また、連結財務諸表規則の改正により、当連結会計年度における連結貸借対照表の資本の部及び連結剰余金計算書については、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。 1株当たり情報 当連結会計年度から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。これによる1株当たり情報の算定に与える影響は軽微であります。
5 当四半期連結キャッシュ・フロー計算書(連結キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	当四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。		連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(平成15年10月1日から平成16年6月30日まで)

	CRO事業 (千円)	SMO事業 (千円)	非臨床事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,451,954	1,298,269	950,074	7,700,298		7,700,298
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,561	12,125	3,105	36,792	(36,792)	
計	5,473,516	1,310,395	953,179	7,737,091	(36,792)	7,700,298
営業費用	5,004,418	1,265,927	838,220	7,108,565	(41,739)	7,066,825
営業利益	469,097	44,468	114,959	628,525	4,947	633,472

(注) 1 事業区分は、役務の種類によって製薬会社向けの医薬品開発業務受託(CRO)事業と医療機関向けの治験実施施設支援(SMO)事業、非臨床事業に区分しております。

2 各区分の主な役務の名称

(1) CRO事業.....データマネジメント業務、モニタリング業務、システム開発その他の業務

(2) SMO事業.....CRC業務、臨床試験事務局等のサイトサポート業務

(3) 非臨床事業.....非臨床段階における各種安全性試験の仲介業務及び実験用資材、動物の提供業務

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

前連結会計年度(平成14年10月1日から平成15年9月30日まで)

	CRO事業 (千円)	SMO事業 (千円)	非臨床事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,229,385	1,481,857	1,224,749	8,935,991		8,935,991
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,643		8,260	58,903	(58,903)	
計	6,280,028	1,481,857	1,233,009	8,994,895	(58,903)	8,935,991
営業費用	5,429,468	1,380,938	1,010,369	7,820,776	(63,712)	7,757,064
営業利益	850,560	100,919	222,639	1,174,118	4,809	1,178,927

(注) 1 事業区分は、役務の種類によって製薬会社向けの医薬品開発業務受託(CRO)事業と医療機関向けの治験実施施設支援(SMO)事業と非臨床事業に区分しております。

2 各区分の主な役務の名称

(1) CRO事業.....データマネジメント業務、モニタリング業務、システム開発その他の業務

(2) SMO事業.....CRC業務、臨床試験事務局等のサイトサポート業務

(3) 非臨床事業.....非臨床段階における各種安全性試験の仲介業務及び実験用資材、動物の提供業務

3 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。